

大分かぼす



農林水産大臣登録第33号

生産地：大分県内

登録団体：大分県カボス振興協議会



特性

果実の風味が優れる緑色の時期に収穫したかぼす。さわやかな柑橘系の香りと強すぎない酸味が特徴。果汁を搾って料理に使うことにより、その風味が食材の持つ味を引き立てる。果実の緑色、果汁歩合等の品質を保ちつつ周年の供給体制を確立。

地域との結び付き

大分県では江戸時代から、かぼすが栽培されており、古くは薬用として重宝されたと言われている。県による栽培奨励や昭和54年に大分県知事が提唱した「一村一品運動」による需要開拓等、他産地に類を見ない振興を通じ、全国生産量の9割以上を占めるとともに、周年出荷体制を構築。県を代表する産品として認知。

桜島小みかん

生産地：鹿児島市桜島横山町、桜島白浜町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島西道町、
桜島藤野町、桜島武町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島赤水町、新島町
(平成16年10月31日時点における行政区画名としての鹿児島県鹿児島郡桜島町)

登録団体：グリーン鹿児島農業協同組合



農林水産大臣登録第46号



特性

果実は極めて小さいが、果肉は柔らかく多汁で、甘さと酸味のバランスがとれ食味が良いみかん。果皮には、柑橘系特有の爽やかな香気がある。

地域との結び付き

周囲を海に囲まれ年間を通して温暖で日照条件にも恵まれている桜島では、温州みかんと系統が異なる「小みかん」が島の重要な商品作物として古くから栽培されてきた。屋根掛けハウスの下で水分管理を適切に行うことにより、サイズの揃いの良い果実を生産し、現在も地域の特産品となっている。

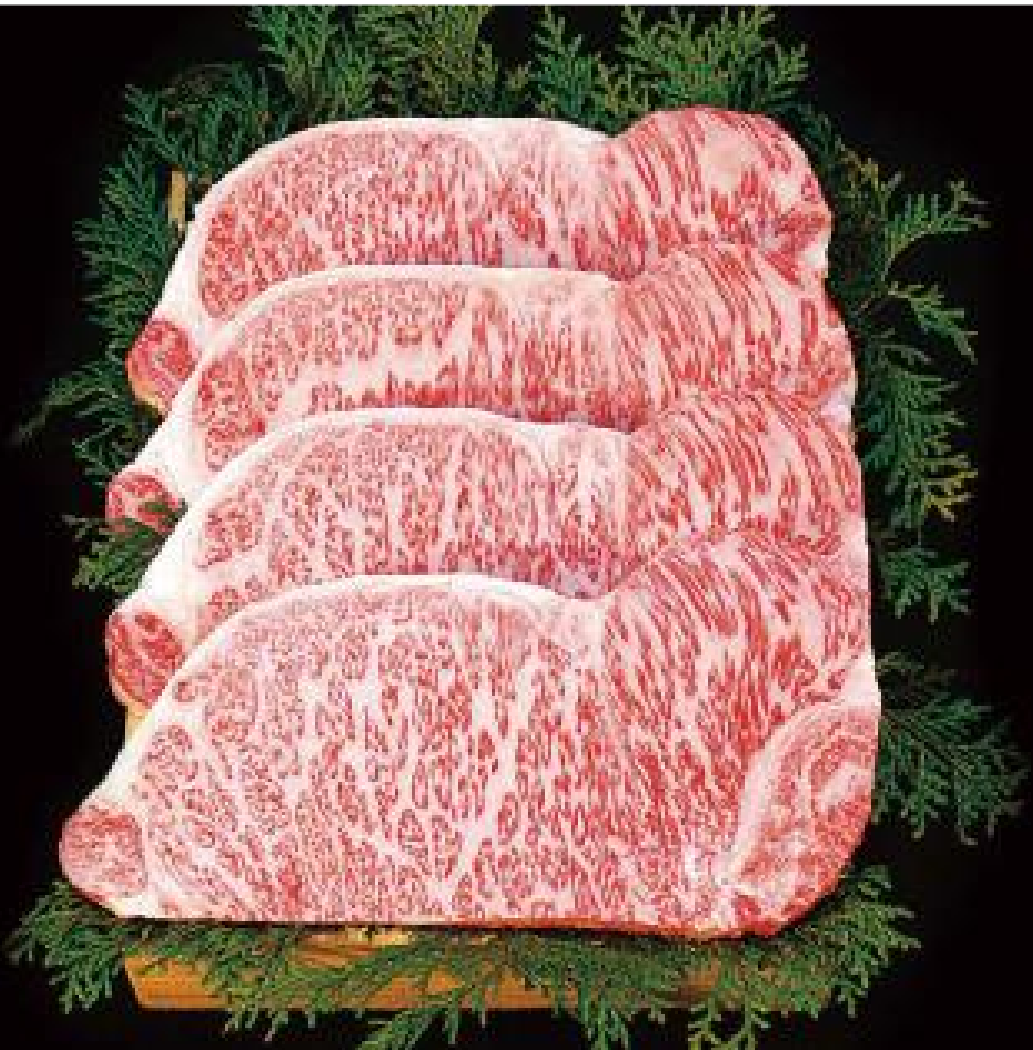
宮崎牛



生産地：宮崎県内

登録団体：より良き宮崎牛づくり対策協議会

農林水産大臣登録第55号



特性

きめ細やかなサシを持ち、口に含むと広がるほのかな甘みと芳醇な香りが特徴。地域を挙げた高品質な肉牛作りが高く評価され、第9回(H19)及び第10回(H24)全国和牛能力共進会において総合優勝。第11回大会(H29)でも肉牛の部で内閣総理大臣賞を受賞。

地域との結び付き

宮崎県は肉用子牛の生産が盛んであったが、昭和34年に肥育牛の飼料給与基準を策定するなど、肥育牛の振興策にも着手。県内種雄牛の改良にも取り組み、昭和48年には「宮崎方式」と呼ばれる県内種雄牛の一元管理体制を全国で初めて構築。

へ つか 辺塚だいたい



農林水産大臣登録第57号

生産地：鹿児島県肝属郡肝付町、南大隅町

登録団体：鹿児島きもつき農業協同組合



特性

その呼び名からダイダイと混同されがちであるが、ダイダイとは異なる系統の地域固有の香酸柑橘類。果実は、ダイダイに比べて小ぶり。果皮は、薄く滑らかでライムにも似た独特の香りがある。果汁歩合は50%前後と豊富で、やわらかな酸味とおだやかでふんわりとただよう香りがある。

地域との結び付き

「辺塚だいたい」の名前の由来である「辺塚集落」は、山と海に囲まれ以前は周囲から隔離された地域。この地に古くから自生している「辺塚だいたい」は、地域限定の特産物として、町外への苗木持ち出しを禁止し、この地域で守り育てられている。

鹿児島黒牛



生産地：鹿児島県内

登録団体：鹿児島県肉用牛振興協議会

農林水産大臣登録第58号



特性

肉質はきめ細かく柔らかい。霜降りのバランスが良く、融点が高い不飽和脂肪酸を含むため、とろけるような食感が特徴。統一的な指導方針のもと、飼養管理技術や種雄牛の改良を継続して推進してきた結果、第11回全国和牛能力共進会（H29）において、最優秀枝肉賞を受賞し、総合優勝。

地域との結び付き

昭和37年より種雄牛の県有化を進め、昭和60年に鹿児島県種雄牛協会を設立。飼養管理マニュアルを作成・普及するとともに、研修会を毎年開催するなど、県をあげて生産技術の向上に取り組んでいる。昭和61年に「鹿児島黒牛」としてブランド化。